

No. 61

2005

6月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大屋敷 清利
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



桜丸 仲平千倉君

松王 福沢弘貴君

梅王 原田隼希君



1区 北沢奈津美さん

3区 名川亜由さん

5区 手塚佳代子さん

2区 宮沢智美さん

4区 蜂谷 渚さん

6区 北原由佳さん

獅子曳きの皆さん

浦安の舞姫の皆さん

平成十七年三月二十六日・二十七日の両日、南信地方のトップを切って萩山神社春の例祭に合わせ多くの区民の皆さんが見守る中、獅子舞・獅子曳き・囃子屋台の芸能発表会が盛大に執り行われ、併せて浦安の舞が奉納されました。

二百有余年の歴史と伝統



保存会役員の皆さんの先導で安養寺へ



休憩場所の区民会館に到着です

区の情勢について

区長 大屋敷 清利

新緑が目にも染みる好時節になった。新年度を迎え諸事躍動感を持って活動を始めた。前号以降の諸行事等を交えて区の情勢をご報告します。

三月四日、第十六回「萩の里ふれあい広場」が区民会館で開催された。招待者、保育園児、実行委員三百余名が一堂に会し、なごやかな雰囲気の中で行われた。アトラクションは「ほらふき会」のユーモラスな劇が笑いを誘った。

三月二十六・二十七日は、萩山神社の春祭。本日は好天に恵まれ、人出も多く賑やかにできた。本年は、獅子の幌を新調した。これまでも、出砂原福島内科医院さんが寄贈されたもので、長年使わせていただいた。常会長・委員合同会議は区民総会に代わるものとして、三月二十一日には十六年度の事業報告とささやかな慰労の会を、四月二十四日には、新常会長・新委員を迎え、新年度の事業計画とこれ又ささやかに発足の会を行った。委員は二年任

期切り替えの年。今後のご尽力をお願いしたい。

五月二十九日、区有林・神社林の巡視現地確認を、監査・三役・代議員・林務・氏子総代が行った。来年度は、区有地を行う予定。

農免道路北工区は、水天宮辻から工業団地北端まで舗装を残すのみで完成している。舗装は八月までに完成予定である。

大島川砂防工事は、堰堤が山の神やや上流に一号から順に五号まで建設予定。

今年度は、二号堰堤が完成予定。それと林道不動滝線の現道が一号堰堤にかかるとで付け替え道路（延長四百メートル）工事が始まり十一月完成を目指す。この付け替え道路は下市田区有林を通過する。下市田北部は、大島川の下流域、区民の安全にとって重要な大事業、ご理解をお願いしたい。

一区中塚市郎さんが区民会館二ノ二室へ掲額されている宮沢胤雄の書を補修して下さった。感謝。

新代議員紹介 (平成17年～18年度)



田中 幸蔵



北沢 義弘



副会長 倉沢 秀司



会長 小島 孝彦



福島 博



酒井 安雄



上沼 祥佑



上原 修



中村 忠敬



佐藤 清司



平沢 宗治



片桐 清司



松原 甫



小川 吉夫



橋 都栄一

代議員だより
代議員会長 小島 孝彦
一、代議員と代議員会
代議員は、六地区より選出された十五名で、上程される各種案件について議決権を有します。代議員会は代議員・区三役・支館三役が加わり二十一名をもって構成されます。

- 二、代議員会の役割
- ① 区・支館・萩山神社の事業計画、予算、事業報告、決算報告の審議及び承認。
 - ② 町・地区の事業、行事の把握。地区内各区の均衡と融和。
 - ③ 町・区・支館・萩山神社各事業協力と地元への連絡。
 - ④ 地区計画見直し取纏めと実施事業の確認作業。
 - ⑤ 社会福祉協議会事業協力。
 - ⑥ 萩山神社各例祭に於ける氏子祈願参拝。
 - ⑦ 出砂原灯籠流しへの参加協力。
- 三、部落名称変更
従来より親しまれて来た部落の呼び名が時代の流れと他町村でも使われなくなり自治会に統一されて来ました。下市田地区も変更する地区が多くなりました。
- 四、まとめ
地区の声を区や町へ結ぶ役、町や区の意向を伝える役、そして何より平穏で楽しい生活が営まれるよう代議員全員が力を合わせ頑張りたいと思います。

楽しめる公民館をめざして

公民館下市田支館長 北原 幸男



今後二年間、私共が支館三役として働かせて頂くことになりました。まことに非力非才にてその重責が全うできるか、不安の中での出発ですが、諸先輩の方々が残されたすばらしい伝統を、汚すことなく引き継ぎ、未来へと繋げて行かれますよう、精魂傾けて努力して行かねばと心を新たに致しております。何卒区民皆様の暖かいご支援ご教導の程をお願い申し上げます。



支館主事 中垣 喜和



副支館長 松岡 修二

公民館の事業というものは、一人でも多くの方々が参加され、楽しく、有意義な時を過ごして頂いてこそ、実り多いものとなります。

それにはまず私共が、役割を大切にしながらも、楽しく役を務める心がけを持ちたいものと思っております。

各事業遂行にあたり、分館長・分館主事・支館部員等の方々の協力添えを頂きながら、和やかな下市田区を作り、発展させて行く一助になればと、がんばって参りたいと存じます。

退任挨拶

前支館長

田中 達郎

平成十三年度の新館則発足と共に呼びを頂き、昨年度迄の二年間は、公民館下市田支館長の立場でお世話様になりました。

交流、研修、憩の場としての公民館活動が、連綿として続く先輩諸氏の労苦の上に展開されるものと実感し、精選された諸行事を通して人の輪が広がり、そして結ばれてきたあの時その

各委員長挨拶



林務委員長 小川 修

御承知の通り緑を造る仕事は気が遠くなる程時間を要します。今日植えた苗木は孫の代でなければ間に合わない、まして平坦な所での作業ではない、又自分の財産ではなく区の財産だ。緑は地球のかけがえない財産です。今を生き延びる者が育てなくて誰が育てるのですか？

区有林は確かに区の財産で時の光景を思い起こしています。

選良と共に下市田を語る町議懇、夏の夜長を盆踊りに興じた萩の里祭り、秋日の二日に亘る文化祭り敬老会等の諸行事や、区報館報の編集発行、図書購入等々の編集発行による懐かしい思い出となりまし。皆様の協力添えを感謝し、下市田公民館のご発展を祈念しつつ退任のご挨拶と致します。



水利委員長 鈴木 博

今年度から二年間水利委員長として、区民の皆様には大変お世話様になります。が、宜しくお願い致します。

さてここ数年の間に起きている地震、水害、事故等で、すぐに必要とされるのが水の問題が出て来ます。私達が生活して行く上で何気なく見ている川、何も無い時には必要性を感じていませんが、一度事が起こると大変な事になってしまいます。水利委員になって区内見回りの時に、現在の用水路、排水路の整備の必要性を感じました。その為には区民の皆様のご理解をお願い致します。

今年度より二年間、土木委員長として区民の皆様方にお世話様になります。宜しくお願い致します。

すが、しかしその区に居住するお一人お一人の財産でもあるはず。一人でも多くの皆様の御協力なくして私共の仕事は進みません。暗き山奥にも暖かい眼差しを。



土木委員長 酒井 博之

本年度事業として、道路維持工事、安全施設工事、舗装工事、河川維持工事、地域づくり拠点整備事業、地元施工、国土保全整備事業等々二十三件の事業を実施して参ります。工事に当たり、地権者・関係者皆様の御理解と御協力を頂き、町・区と一体となり事業の推進に努めて参りたいと思

います。区民の皆様方には尚一層の御理解と、御協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



環境衛生委員長 小 椋 邦彦

今年度より環境衛生委員長として区民の皆様にお世話様になります。未熟ではあります。どうぞよろしくお願い致します。

環境問題は、京都議定書の発効により国際的な取組みを必要とする重要な課題となっております。その中で



消防委員長 松田 忠弘

も私たちの家庭ゴミ問題は大変関係の深いものです。委員会全員で取組んで行きますが、区民の皆様には排出量や分別に関心を持ち協力いただき、美しい町づくりと安心して暮らせる地球環境づくりにみんなで取組みましょう。どうぞご協力ご支援をお願い致します。

昨年の日本は「災」の一言に代表されました。天災は忘れた頃にやってくる。災害の先触れはない。地震、雷、火事、お母さん。立ち物は転び物。畳上の怪我。備えあれば憂いなし、転ばぬ先の杖等、先達は経験から後生に伝えております。

本年度事業は昨年度同様とし、更に区民の皆様の防災意識の向上に繋がる啓蒙啓発活動の推進と、行政の目の届かない所へ、少しでも目や光が届き防災に役立つ委員会でありたいと思っております。

杖に縋るとも人に縋るな。と言われます。自己責任もどうぞ忘れなく。

下市田区 監査委員紹介



吉川 登



木村 喜威



尾関 欽治

ご挨拶

委員長 吉川 登

この度の改選により、私も三名が、区の監査委員を拝命することとなりました。素より浅学非才な身で、その器ではありませんが、区発展のため公正不偏の姿勢で職務を遂行して参りたいと存じますので、区民皆様のご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

分館長の紹介と挨拶

分館長会長 日吉 宇平

各地区より
の公民館分館
長・主事十二
名は、先日、
下市田支館長
より、平成十
七・十八年度
の下市田支館
の役員として、
委嘱状を頂き、
何かの縁と思
い、お引き受
け致しました。

棕鳩十先生
の「感動と言
うやつは人間
の心を変える
んです。感動
は心の中に起
こる地震です
よ。素晴らしい
感動を受けな
かったら、人
の心は変わ
りません。感
動は心の扉を
ひらく。」と
言う言葉があ
ります。感動
を受け、与
えて、楽しく
明るく、お互
い助け合っ
て勤め上げ
ればと思
います。

公民館の各行事は、本館ではスポーツ大会、運動会など、催物は歩こう秋の高森、文化祭。支館での行事は地元町議との懇談会、萩の里祭り、文化祭りなどです。各地区分館でそれぞれ行事が計画されており、各地区の皆様のご参加、ご協力をお願い致します。

6 区分館長
秦 廣美5 区分館長
橋本 恒夫4 区分館長
日吉 宇平3 区分館長
宮島 達朗2 区分館長
宮下 清秀1 区分館長
木下 敏6 区分館主事
宮外 正彦5 区分館主事
松崎 愉4 区分館主事
棚田 利宣3 区分館主事
原 圓2 区分館主事
坂牧 悦司1 区分館主事
片桐 幸男

平成17年度 高森町公民館下市田支館 歳入歳出予算書

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)
平成17年3月16日可決

歳入の部

科 目	本年度予算額
繰越金	600
繰入金	3,000
補助金	450
雑収入	1
合 計	4,051

歳出の部

(単位 千円)

科 目	本年度予算額
総務費	1,990
事業費	1,870
広報費	20
予備費	171
合 計	4,051

平成17年度 下市田区一般会計 歳入歳出予算書

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)
平成17年3月16日可決

【1. 歳入の部】

区 分	本年度予算額
1. 区 費	15,000
2. 繰入金	550
3. 町支出金	6,000
4. 財産収入	1,200
5. 地元負担金	350
6. 消防義務金	2,100
7. 諸収入金	1,500
8. 前期繰越金	6,500
合 計	33,200

【2. 歳出の部】

(単位 千円)

区 分	本年度予算額
1. 総 務 費	12,000
2. 環境衛生費	1,170
3. 林 務 費	900
4. 土 木 費	6,000
5. 水 利 費	2,500
6. 消 防 費	2,600
7. 公 民 館 費	3,000
8. 予 備 費	5,030
合 計	33,200

萩の里ふれあい広場

実行委員長 上沼義人



三月四日、第十六回「萩の里ふれあい広場」が、社会福祉協議会・下市田区の共催により区民会館を会場に盛大に開催されました。午前中、小雪の舞うあいにくな天候にもかかわらず、招待者百十余名、下市田保育園児百二十二名、実行委員九十名、アトラクション出場者六名の計三百二十余名の参加を頂きました。

三月四日、第十六回「萩の里ふれあい広場」が、社会福祉協議会・下市田区の共催により区民会館を会場に盛大に開催されました。午前中、小雪の舞うあいにくな天候にもかかわらず、招待者百十余名、下市田保育園児百二十二名、実行委員九十名、アトラクション出場者六名の計三百二十余名の参加を頂きました。

午後には有志でつくっている「ほらふき会」の皆さんによる「かんじょう板」と言う、語り寸劇の愉快なセリフに、会場は大きな笑いに時のたつのも忘れるほどでした。

最後に招待者を代表され小林恵さんが謝辞を述べら

発表が終わると、園児はおいしいさん、おばあさんとかい合いに座り、心のこもった手作り味ご飯を全員で美味しくご馳走になりました。

れ、本日の行事も無事終了することが出来、席を立たれる方々の顔に安らぎを見て取れ、来年も又、元気な姿でふれあい広場に来て頂けることを祈って、バスを見送りました。

公民館下市田支館 部長挨拶



北 沢 文 治

平成16年度 下市田区一般会計決算報告書

(自平成16年4月1日～至平成17年3月31日)

収入金計 45,518,896円 支出金計 39,222,239円 差引残高 6,296,657円

I. 【収入金の部】

項 目	予 算 額	既 収 入 額	比 較 増 減
1. 区 費	15,000,000	15,550,500	550,500
2. 繰 入 金	550,000	509,597	- 40,403
3. 町 支 出 金	14,000,000	13,720,441	- 279,559
4. 財 産 収 入	1,200,000	1,484,838	284,838
5. 地 元 負 担 金	350,000	169,655	- 180,345
6. 消 防 義 務 金	2,100,000	2,150,000	50,000
7. 諸 収 入 金	5,000,000	4,899,753	- 100,247
8. 前 期 繰 越 金	7,034,112	7,034,112	0
収 入 合 計	45,234,112	45,518,896	284,784

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予 算 額	既 支 出 額	比 較 増 減
1. 総 務 費	12,150,000	11,631,804	- 518,196
2. 環 境 衛 生 費	1,170,000	958,764	- 211,236
3. 林 務 費	900,000	732,357	- 167,643
4. 土 木 費	9,000,000	6,385,311	- 2,614,689
5. 水 利 費	4,000,000	4,864,605	864,605
6. 消 防 費	2,600,000	2,284,933	- 315,067
7. 公 民 館 費	3,000,000	3,000,000	0
8. 予 備 費	12,414,112	9,364,465	- 3,049,647
支 出 合 計	45,234,112	39,222,239	- 6,011,873

平成16年度 高森町公民館下市田支館決算報告書

(自平成16年4月1日～至平成17年3月31日)

決算収入額 4,276,772円 決算支出額 3,665,626円 残 高 611,146円 (JAみなみ信州預金残高)

1. 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
繰 越 金	600,000	792,149	192,149
繰 入 金	3,000,000	3,000,000	0
補 助 金	450,000	458,600	8,600
雑 収 入	1,000	26,023	25,023
合 計	4,051,000	4,276,772	225,772

2. 支出の部

△印減 (単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
総 務 費	2,240,000	1,994,403	△ 245,597
事 業 費	1,760,000	1,659,817	△ 100,183
広 報 費	20,000	11,406	△ 8,594
予 備 費	31,000	0	△ 31,000
合 計	4,051,000	3,665,626	△ 385,374

下市田のみなさん

こんにちは

三区出身 井駒 秀人

(神奈川県大磯町在住)

は写真工学を専攻し富士フィルムに勤めるに至った。

高校時代の天文仲間とは今

「キザミ屋」の屋号の意でも家族ぐるみの付き合いが続いている。恒例となつて

味も知らないまま、故郷を離れて早三十年になる。幸

い両親は健在で、二人の娘真館で家族共々写る集合写

を連れて年に二度の帰省が我が家の通例となっている。

私は現在、島崎藤村ゆかりの地でもある大磯に居を構え、金太郎で有名な南足

柄市で写真の研究開発に従事している。この仕事に就

くキッカケは父親の写真好きにある。高校の天文部で

その写真にはまり、大学で

来年は私も五十路を迎える。その為か最近、物事の

始めと終わりをより意識するようになった。稲作・果

樹・酪農に生涯を掛けて来た両親の苦労の程は知る由

もないが、全国区となつた市田柿を近所の店で見ると二人

の足跡が忍ばれ、同時に我が事のように誇らしく思えるのは、

素晴らしい故郷があればこそである。

便利さと引替えに失うモノが余りに多い世の中ではあるが、

今一度何が大切か、次世代に継承すべき

は何かを同郷の皆さんと共に考えて行ければと思う。



高森町に移住して

一区 宮嶋 昭二

定めて、昭和四十二年に出砂原の熊谷英一さんに土地

の斡旋と建築をお願いして、高森町民としてお世話様に

なっている者です。

高森町民となつて今年で

三十八年になります。高森

町下市田は住み良い所で、

永住の地を定めた事を幸せ

に思つて感謝しています。

私の前職は農業改良普及

員で、昭和二十五年から昭

和六十三年まで三十九年間

勤め、退職してからここに

住むことになり社会貢献を

り社会貢献を

随想

あとしまつ

三区 丸山 隆志

「あいさつ・へんじ・あ

としまつ」は、しつめの三

大原則と昔から言われてき

ました。その通りだと思ひ

ます。

この三つができれば、人

徳備わることになる。まさ

に、人柄の表れでしょうし、

「人柄そのもの」とさえ思っ

ています。

はき物のあとしまつが、

一生の大事であることを哲

もう手おくれの人もらっ

しゃるかとも思いますが、

お互いに人生最後まで修行



は顔を知って頂くことと、民生委員の職務を遂行すべく老人福祉を重点にプライバシーを守り、務めたつもりです。

民生委員の任期は一

期三年で、三期九年間

も勤めさせて頂き、この間

色々と御教導下さった町民

の皆さんに遅れ馳せながら

感謝を申し上げます。

尚、この九年間に町内の

状況や多数の皆様方と知り

合うことが出来、世間が広

くなりましたこと、民生委

員をさせて頂き本当に良かつた

たと感謝の気持ちで一杯で

であり、努めて参りたいものです。

学校へおじゃまして、最初

に、くつ箱・かさ棚を見

ます。きちんと収まってい

る学校は、それだけで立派

で力があるなと伝わってき

ます。

小事こそ大事です。「一

隅を照らすは国の宝なり」と

言われます。



公園のごみを拾う、草花に水をやる、使ったシャベルを洗って元へ戻す……こんな事の積み重ねが、勤勉・誠実な日本人をつくりあげてきたのではないのでしょうか。

わたしの作文



ぼくの作文

中学生になって

中一 三浦和真(六区)

ぼくが中学生になってもう一か月が過ぎました。いろいろなこの一か月間にあったのに一週間前かのように思います。

ぼくは中学生になってがんばりたいと決めたことが三つあります。

一つ目は勉強です。

ちゃんと先生の話を聞いたり黒板に書いてあることを分かりやすくノートにま

わたしの

がんばっている事

小四 北沢里佳(二区)

わたしは、高森町スポーツ少年団のバレーボール部に入っている、バレーボールをがんばっています。

練習は、毎週火曜日の午後四時四十五分から七時までと、日曜日の午前八時から十二時までです。

練習は、じゅんぴ体そうをして、レシーブ、サーブ、試合けい式の練習をしています。

わたしが練習で気を付けている事は、レシーブをするとき、

とめたりすることです。

あと、学校で出る四

点セットの宿題をできるだけ毎日だすようにがんばることです。

二つ目はサッカーの練習です。

ぼくは宮田という所のサッカーのクラブチームに入っていて、練習は月、火、金、土曜日にあります。

でも日曜日はだいたい試合があって、二日しか休む日がありませんが、だんだ



ます。半分くらいしかサーブが入らないので、もっと入るようになりたいです。わたしはまだ四年生なので、試合には、なかなか出られませんが、五年生になったら試合に出られるようにがんばりたいです。

の中学生生活を送っていききたいと思っています。

あとは何ごととも楽しいと考えてこれからの中学校生活を楽しんでいきたいと思っています。



平成17年度 高森町公民館下市田支館事業計画

月日(曜)	事業名	場所	内容等	担当
5月~6月	区報・館報(61号)の編集発行6月1日	区民会館	企画・原稿依頼・編集 区・支館の報告と依頼原稿	編集責任者 支館長
6月11日(土)	地元町議との懇談会	区民会館	地元町議の議会報告 区民の要望・懇談等	支館長 担当部長
7月3日(日)	町スポーツ大会	各運動場 各体育館	スローピッチソフト ソフトバレー・分館対抗	(分館対抗)
7月30日(土)	萩の里まつり	区民広場	盆踊り・花火 演技(保育園・太鼓等) お楽しみコーナー	支館長 担当部長
8月16日(月)	盆野球大会	各運動場	分館対抗	(分館対抗)
10月10日(日)	町民運動会	中学校庭	分館対抗	(分館対抗)
10月15日(土)~16日(日)	文化祭り・敬老会	区民会館他	作品展示・ぐるりウォーキング 敬老会(喜寿・米寿・卒寿表彰) 舞台発表	支館長 担当部長
10月~11月	区報・館報(62号)の編集発行11月1日	区民会館	企画・原稿依頼・編集 区・支館の報告と依頼原稿	編集責任者 支館長
11月19日(土)~20日(日)	町ふるさと祭り テント村出店	役場駐車場	おしるこ無料サービス (2,300食用意)	副区長・支館三段 分館長・分館主事 女性ふるさと
12月~2月	区報・館報(63号)の編集発行2月1日	区民会館	企画・原稿依頼・編集 区・支館の報告と依頼原稿	編集責任者 支館長
2月12日(日)	ベタタン大会	高森ドーム		(分館対抗)
3月25日(土)~26日(日)	萩神社春祭り夕祭 郷土芸能発表		写真・ビデオ撮影	支館 視聴覚担当
随時	図書管理	区民会館	図書購入1月初旬・貸出し	担当部長

平成17年度 高森町公民館下市田各分館事業計画

区	月日(曜)	事業名	会場	内容等
1	6月4日(土)	土器作り	旧学校	保育園児・小・中学生による土器作り 保護者・PTAも 地区全員参加・住民同志の連帯
2	7月9日(土) 8月7日(日) 9月18日(日) 10月29日(土)・30日(日)	ふれあい広場夏祭り 土器野焼き・ソーメン流し 芸能祭 展覧会	中央公園 中央公園 町福祉センター ふれあい会館	6月4日に作った土器の野焼き等 芸能発表・交流会 趣味の作品展示・野焼き土器展示
3	6月5日(日) 7月16日(土) 1月1日(日)	2区ベタタン大会 2区納涼祭 元旦マレットゴルフ大会	下二会館広場 下二会館広場 親水公園	PM1:00開会 踊り・出店
4	6月19日(日) 午前 午後 11月6日(日)	力行会スポーツ大会 お好み演芸会 多世代交流スポーツ大会	区民会館前広場 区民会館 区民会館	グラウンドゴルフ 常会出演 演芸大会 子供からお年寄りまで 生涯学習ふれあい事業・高寿会協力
5	7月末 11月 1月1日(日) 1月22日(日)	夏期スポーツ大会 4区ふれあい広場 元旦マラソン及びウォーキング 冬季スポーツ大会	町民グラウンド 夕映え道路 高森ドーム	野球又はソフトボール (町民運動会が中止の時) 漸進会・分館共催・他地区も参加 老人と子供の協賛・交流
6	9月4日(日) 1月下旬	分館スポーツ大会 アパード及び 独立世帯との交流会	高森ドーム内外 下五会館	ベタタン・グラウンドゴルフ 地域との連帯感を願って ・常会、組合編入への誘い ・地域活動への理解と協力
7	5月 5月22日(日) 7月 8月7日(日) 8月15日(土)・16日(日) 8月18日(日)	子供、老人ふれあい広場 グランドゴルフ大会 親子竹トンボ・竹笛作り 納涼祭 盆踊り大会 夏祭り	出砂原地区 親水公園 出砂原地区 お祭り広場 お祭り広場 出砂原地区一帯	子供、老人交流おたのしみ会 常会対抗グランドゴルフ 講師平沢さんにより作って遊ぶ 夜店市 育成会・婦人団体等と協調 大煙火大会・灯籠流し 子ども提灯行列・子ども神輿
8	9月 12月25日(日) 1月8日(日)	子供地域めぐり 生涯学習 どんと焼・お楽しみ会	出砂原地区一帯 出砂原地区 大電河原・地区館	正月飾り講習会(講師老人クラブ) 育成会・PTA

グループ紹介

一区一勢会

一区 龍口宏実

グループ紹介 この焼は早目に下準備をして介のコーナー キャベツ・ネギを刻む訳でをお借りしませんが、外から見ると簡単に丁を持った事のない男性陣にとって、これが刻むのひと苦労。焼イカは冷凍品を解凍するのですが、この解凍が手を入れられない程冷たく、又タレ作りが思った通りに行かなくて何度か作り直した事もあります。当日に至っては全て準備万端と思いきや後になってあれが無い、これが無いでひと苦労。本番になって夏の暑い盛り火を使うのでこれが大変。皆汗びっしょりで頑張っています。約二時間程の間内では何百食も作るのは大変ですが、皆が心を同じくし、取り組む姿はこの会ならではのものです。とても楽しい会です。一緒に活動してみませんか。

の苦労話を紹介します。焼そば、た

市の活動は、年一回行われる一区主催ふれあい広場、同じく下市田区主催萩の里祭り、この催しの夜店を出店しています。出店品目は、焼そば、焼イカ、たこ焼、フランクフルト他の品目がありますが、この四品がメインです。ここで当夜店



地域の紹介

魅力多く住み良い地域

五区自治会長 小川 吉夫

五区は四月一日から自治会となり、各役員・委員等の方達は新任と言うことで張り切っています。タートしました。当区は間ヶ沢川を境に三区と、西は夕映道路付近を四区と、南は南大島川で飯田市と、東は天竜川で三方川が境になって居ます。川が多く山は無く、農地の多い地区です。昔からの物も多く火の神様である秋葉大権現の立派な塔が北に一ヶ所、南に一ヶ所。南に有るのは町の有形文化財であり一躍高森町を有名にした富本銭出土の秋葉塔の塚で、高さ四メートルの頂上に建っています。国道際に日限地蔵尊が祠は小さく目立たないが、世話人一同により良管理保存され、他町村からの参詣多く線香の煙がいつも立っています。地蔵様の前には多くの千羽鶴、絵馬等が供えられ、願い事を叶えてくれる地蔵様として喜ばれています。是非参詣し賽銭をあげ、大願成就出来るので一度は来て下さい。

五区は四月一日から自治会となり、各役員・委員等の方達は新任と言うことで張り切っています。タートしました。当区は間ヶ沢川を境に三区と、西は夕映道路付近を四区と、南は南大島川で飯田市と、東は天竜川で三方川が境になって居ます。川が多く山は無く、農地の多い地区です。昔からの物も多く火の神様である秋葉大権現の立派な塔が北に一ヶ所、南に一ヶ所。南に有るのは町の有形文化財であり一躍高森町を有名にした富本銭出土の秋葉塔の塚で、高さ四メートルの頂上に建っています。国道際に日限地蔵尊が祠は小さく目立たないが、世話人一同により良管理保存され、他町村からの参詣多く線香の煙がいつも立っています。地蔵様の前には多くの千羽鶴、絵馬等が供えられ、願い事を叶えてくれる地蔵様として喜ばれています。是非参詣し賽銭をあげ、大願成就出来るので一度は来て下さい。



編集委員会の紹介

平成十七・十八年度の編集委員会は左記の通り構成し「萩の郷」発行を担当します。尚、編集委員は全員が支館部員であり、支館事業にも取り組みます。

- | | |
|-------|---------|
| 区 長 | 大屋 豊 |
| 副 区 長 | 木下 利 |
| 会 計 | 林 稔 |
| 支 館 長 | 北 原 幸 男 |
| 副支館長 | 松 岡 修 二 |
| 支館主事 | 中 垣 喜 和 |

編集後記

「萩の郷」六十一号をお届けします。この四月に区代議員を始め、各委員・監査委員・分館等の役員が改選されましたので、今号はその紹介や挨拶にかなりのスペースを費やすことになりました。これらの役員の方々への、区民皆様のご支援とご協力をお願いいたします。また、年度当初ということで、支館及び各分館の十七年度の事業計画も発表さ

編集委員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|-------|---------|---------|
| 金 原 貞 夫 | 久 保 田 郁 子 | 村 上 英 範 | 加 藤 悦 子 | 北 沢 文 治 | 松 島 章 子 | 松 下 信 子 | 山 本 勝 子 | 新 井 光 浩 | 麦 島 希 久 子 | 赤 羽 目 文 子 | 串 原 幸 夫 | 原 元 竜 也 | 坂 田 隆 勉 | 棚 田 史 子 | 藤 松 八 千 穂 | 戸 谷 和 彦 | 下 平 剛 | 熊 谷 清 扶 | 三 浦 清 扶 |
|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|-------|---------|---------|

れております。これらのひとつも、動いて頂く各役員とそれに参加される方々との協働こそ大切です。こどもも暖かいご支援をお願い致します。今号は編集担当が新部員となり、原稿依頼、紙面づくりなど不手際な所も多々あったと思います。試行錯誤の末、完成させた「萩の郷」ですが、厳しい目でご指導いただくことこそ、良い紙面作りの源となります。ご感想などお寄せ下さい。